



主要施策：経済建設委員会所管

災害に強く安全安心に暮らせるまちづくりの推進

項目	予算金額
和田町常陸海浜公園線整備事業	4億5,939万8千円
一級河川大川改修事業	1億5,550万円
雨水幹線整備事業	6億6,845万8千円
上坪浄水場更新事業	23億177万2千円
勝田清掃センター解体事業	3億5,414万2千円

都市基盤の整備と住みやすいまちづくりの推進

項目	予算金額
佐和駅東西自由通路整備事業	2,100万円
土地区画整理事業計画見直し	6,376万4千円
東中根高場線整備事業	4億1,527万2千円
東石川高野線道路改良事業	7,750万円
都市公園整備事業	1億1,990万7千円
親水性中央公園整備事業	1億5,982万5千円
下水浄化センター施設整備事業	3億2,738万4千円
民間賃貸住宅家賃補助	2,676万円

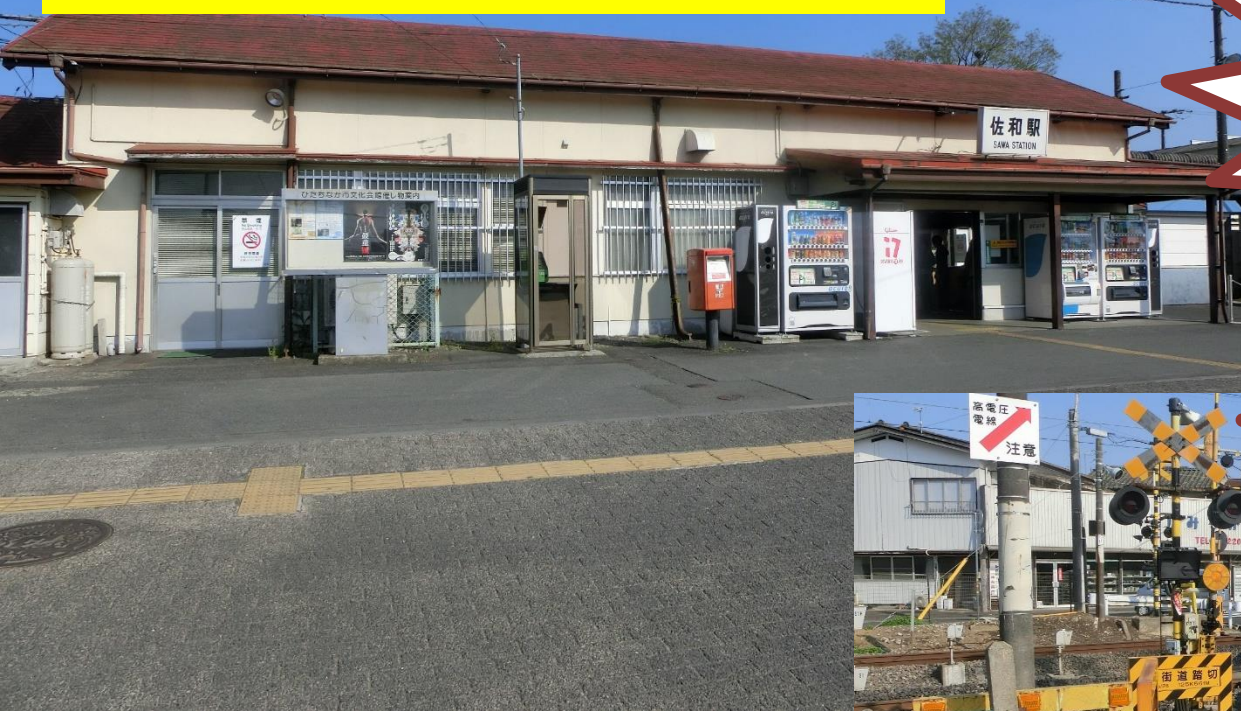
産業の振興と地域経済の活性化

項目	予算金額
中小企業特別融資資金預託	5億5,000万円
産業活性化支援事業	2,007万1千円
新規漁業就業者支援事業	30万円
湊線沿線地区観光周遊案内看板整備事業	300万円
観光案内所運営事業	244万5千円
商店街街路灯整備推進事業	220万円
特別栽培米ふくまる生産支援事業	750万円
プレミアム付地域商品券発行補助事業	3,477万6千円



1. 佐和駅東西自由通路整備事業(2,100万円)

(1) 佐和駅周辺地区の現状



事故多発

危険!!!



東側から佐和駅を利用する方々は、交通量の多い踏切を渡らなければならない不便な現状があります。



(3) 自由通路及び新駅舎の必要性





(4) 佐和駅東西自由通路の整備要件

施設規模の考え方

駅利用者の将来予測

現在の佐和駅利用者数
7,600人/日

区画整理
事業等による人口増加
分を見込む

将来の佐和駅利用者数
8,700人/日

所定の算定基準に則り幅員等を算出

都市施設(自由通路)

- 幅員4m(必要幅2.7m+余裕幅)
- 東西駅前広場への階段出入口は1箇所ずつ計2カ所配置
- エレベーターについても東西1箇所ずつ計2カ所配置

鉄道施設(駅舎)

- 自動改札機を橋上部に配置
 - 上り・下りホームへの階段は1箇所ずつ計2カ所配置
 - エレベーターについてもホーム1箇所ずつ計2カ所配置
- ※駅施設に配置する機能については、今後JRにおいて検討

利用者数に応じた施設規模の算出



(5) 佐和駅東西自由通路の基本計画案

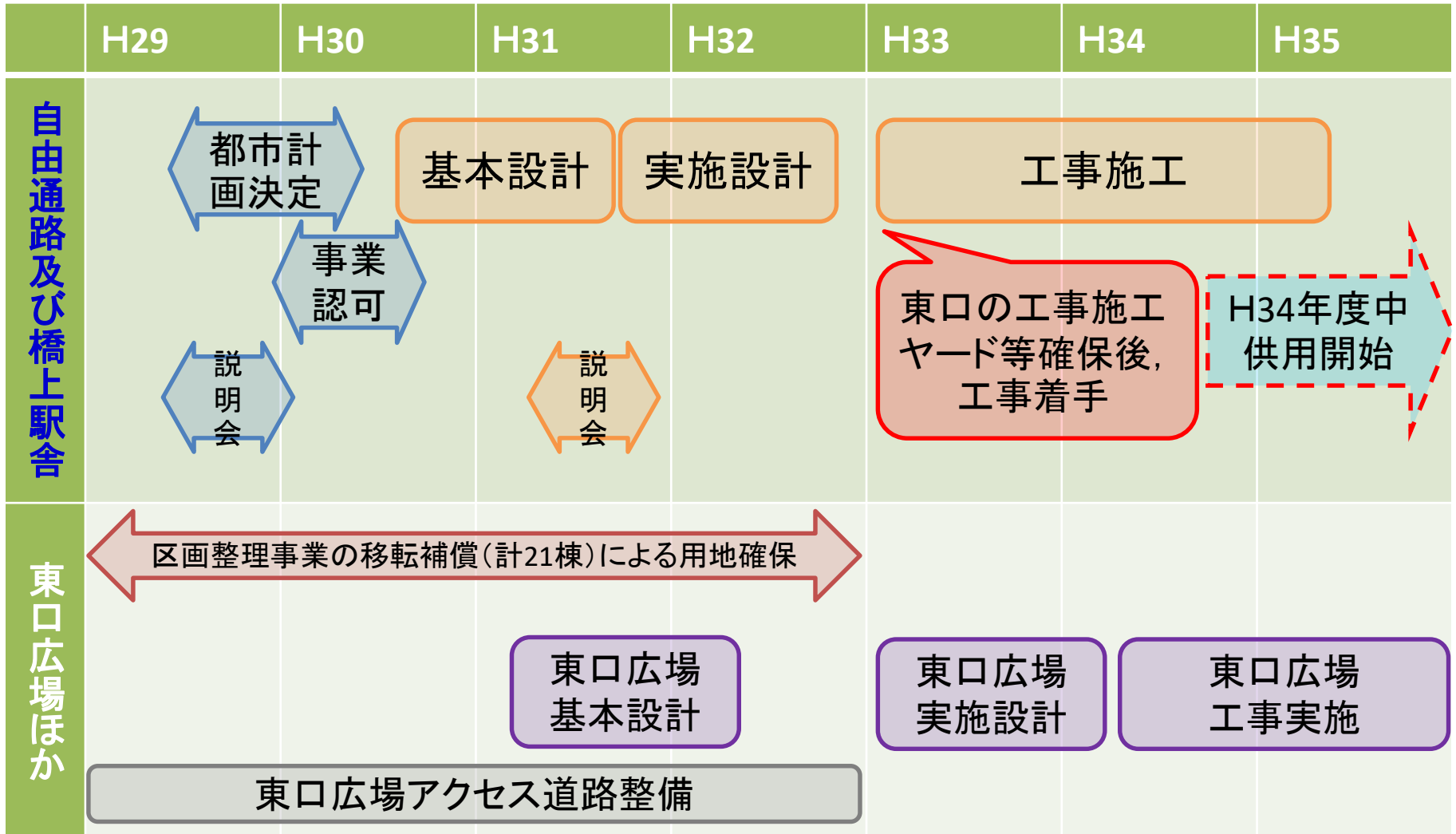
自由通路幅員：4m



自由通路及び橋上駅の施工事例(岩間駅)



(6) 事業スケジュール案





2. 都市公園整備事業(1億1,990万7千円)

(1) 事業内容: 身近な場所に公園のない市街化区域に公園を整備

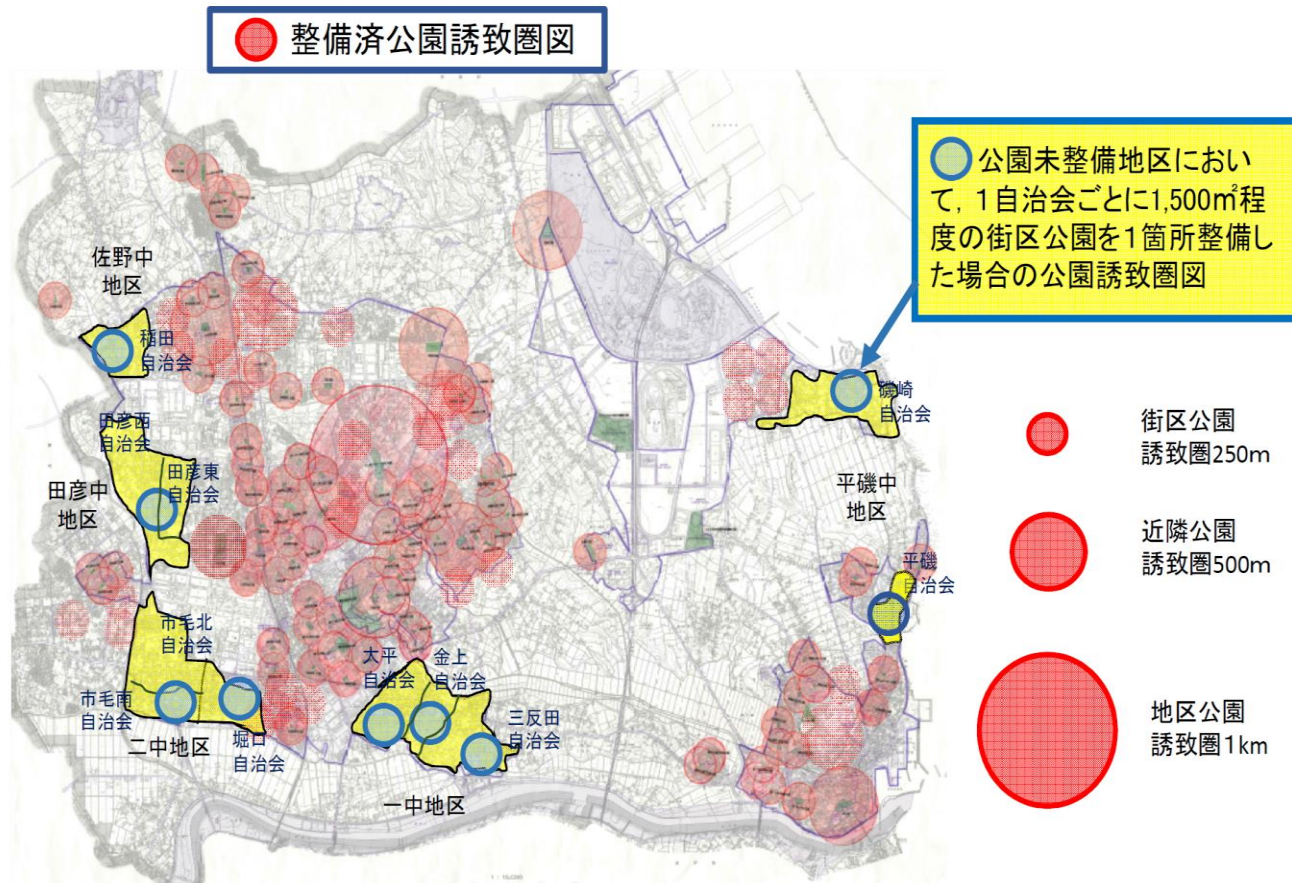
公園整備の考え方

公園の役割	整備方針
<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者層の増加や健康志向の高まりに対応・ 子どもを育む場・ 地域コミュニティの確保・ 災害の対応 など ⇒ 地域の安全確保や生活環境の向上に欠かせない施設	<ol style="list-style-type: none">① 身近な場所に公園のない市街化区域を抽出し、1自治会におおむね年度ごとに1箇所程度設置② 適正規模は1,500㎡程度(街区公園として必要な機能が確保できる面積)③ 適正地は自治会の意見を反映するとともに、なるべくエリアの中心地となることや道路などアクセス性を考慮し、空家・空き地を積極的に活用



(2) 整備箇所の抽出

身近な場所に公園のない市街化区域を抽出し、1自治会におおむね1箇所程度設置





●抽出箇所と整備の目的

地区名	自治会名	整備の考え方	規模
一 中	大 平	住環境の観点から都市基盤施設のひとつとして整備	1,500㎡ ～ 2,500㎡
	金 上	災害対応に活用できる場所として整備	
	三反田	三世代が利用できる場所として整備	
二 中	堀 口	子育て世代から子どもが自由に遊べる場所として整備	
	市毛北 市毛南	高齢者の健康増進の場所として整備	
佐野中	稲 田	子育て世代が利用できる場所として整備	
田彦中	田彦東	高齢者の健康増進の場所として整備	
	田彦西		
平磯中	磯 崎	統合校整備と整合性を図りながら場所を選定	
	平 磯		
5地区	11自治会		



(3) 実施計画(本年度)

平成30年度整備予定(二中地区:堀口自治会)



公園面積	1,287m ²
予 算	7,750万円



(4) 整備例(イメージ)

武田仲坪公園

適正規模は1,500㎡程度

